

株主メモ	
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日、7月31日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
公告掲載方法	電子公告によりホームページ(https://www.artner.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座
管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ
ください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『IRメール配信』サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の更新、
決算、ニュースリリース、その他重要事項の最新情報を、Eメールに
て配信いたします(無料)。

下記URLまたはQRコードからサイトにアクセスしてご登録ください。

<https://www.artner.co.jp/ir/mail/>



↑QRコードから
アクセス

当社のIR活動が表彰を受けました！	
日興アイ・アール株式会社 2019年度全上場企業 ホームページ充実度ランキング ●総合ランキング「最優秀サイト」 ●業種別ランキング「優秀サイト」	ゴメス・コンサルティング株式会社 Gomez IRサイト ランキング2019 ●総合ランキング「優秀企業」「銀賞」(57位) ●業種別ランキング(サービス業5位)

株式会社 アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F

大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル2F

Webサイト／投資家情報のご紹介

<https://www.artner.co.jp/>

アルトナー

検索



▲トップページ



▲投資家情報 (トップページ▶投資家情報)

エンジニアインタビュー等
動画ならではの当社情報を配信中！



▲<https://www.youtube.com/> より

アルトナー公式

検索

UD FONT

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org



59 | 2QIR

株式会社 アルトナー

証券コード：2163

第59期 IRレポート【中間】

2020年2月1日～2020年7月31日

特集

景気減速リスクを見据えて、
アルトナーが作り上げてきたビジネスモデル

Make Value!

Engineer Support Company

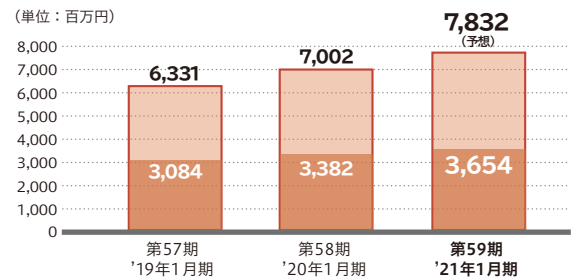


※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

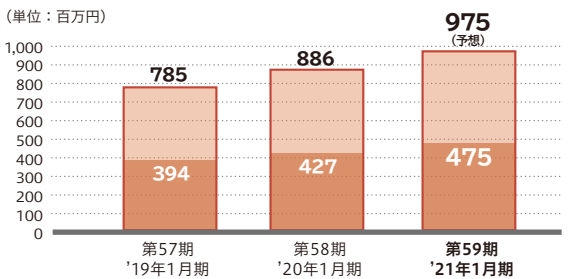
第59期 第2四半期 業績ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間

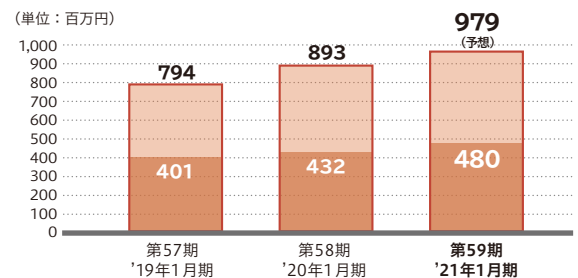
売上高 3,654百万円 8.0%増



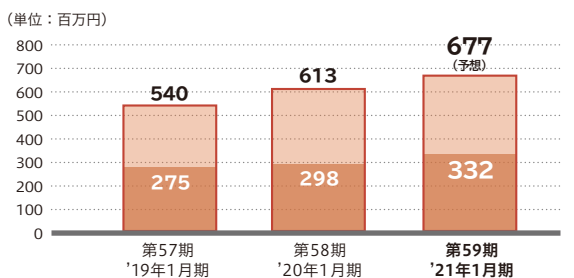
営業利益 475百万円 11.3%増



経常利益 480百万円 11.1%増

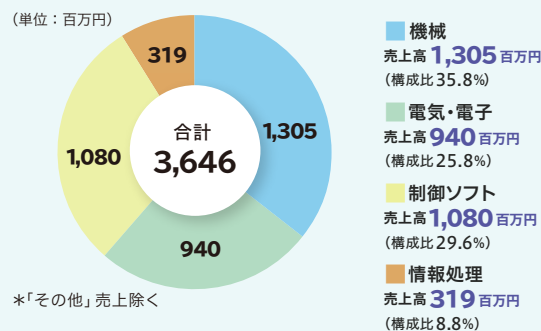


四半期(当期)純利益 332百万円 11.4%増



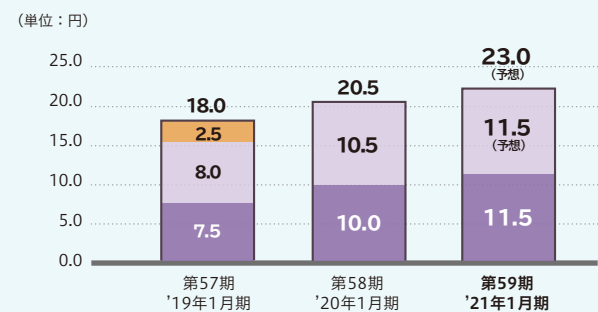
ROE(自己資本当期純利益率)他 経営指標に関する詳細は ▶アルトナーサイトTOP ▶投資家情報 ▶業績・財務情報 ▶主な経営指標を参照

第59期 第2四半期 分野別売上高*



配当金推移

□ 年間 ■ 中間 □ 期末 ■ 記念配当



Top Commitment

上期に引き続き、
下期もコロナ禍での事業推進のために、
様々な取り組みを行ってまいります。

第59期(2021年1月期)第2四半期累計期間の業績、
第59期(2021年1月期)業績予想(通期)の進捗、
中期経営計画(2021年1月期~2023年1月期)の
基本施策の進捗についてご説明させていただきます。

代表取締役社長

関口 相三

今回のご報告とご説明は、Web会議ツールを活用し、お届けいたします。
当社では以前よりWeb会議体制を整え、積極的に活用しています。

第59期(2021年1月期)第2四半期累計期間の市場環境

顧客企業が研究開発予算を維持する方針のもと、
自動車関連を中心に技術者要請を継続。

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい経済情勢ではあるものの、リーマンショック時と比較すると、当社の主要顧客である大手メーカーは研究開発予算を維持する方針を打ち出しており、技術者ニーズは継続いたしました。

また、顧客企業の状況として、新たな外部人材の導入をリスクと捉える企業と、リスクと捉えず体制を再構築する企業とがございます。特に後者の顧客企業に対して、当社のシェアを高めるべく、積極的な営業活動を展開しております。

業界別の特徴では、自動車関連と情報通信に加え、5G等の次世代対応やリモートワークによるWeb機器の普及などで、半導体関連において技術者要請がございました。

第59期(2021年1月期)第2四半期累計期間の業績概要

労働工数の減少をカバーする稼働人員の増加、
スタッフのテレワーク推進による諸経費の減少。

顧客企業各社からの在宅勤務や時差出勤、休業日の設定等の要請を受けて、労働工数の減少を余儀なくされました。しかしながら、技術者数の増加に伴い稼働人員が増加し、また、6月末に一部、契約期間満了があったものの、稼働率、技術者単価が前年同期と同水準で推移いたしました。

また、費用面については、採用活動及び営業活動において、スタッフのテレワークを推進したことにより、旅費交通費や会議費等が減少いたしました。
これらを踏まえ、売上高は3,654百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は475百万円(前年同期比11.3%増)、経常利益は480百万円(前年同期比11.1%増)、四半期純利益は332百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

第59期(2021年1月期)業績予想(通期)の進捗

顧客企業との年度内の契約更新を注視しつつ、 新卒技術者に十分な研修を実施して配属を準備。

年度内の9月末と12月末に、顧客企業と当社の契約更新がごございますので、引き続き状況を注視してまいります。



オンライン取材の様子。

また、2020年4月入社の新卒技術者の配属につきましては、政府の緊急事態宣言の影響もあり、後ろ倒しになっていましたが、十分な研修を実施して準備を整えております。

※新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を現時点で合理的に算出することが困難なため、2020年3月13日に公表いたしました通期の業績概要を据え置いております。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

中期経営計画(2021年1月期～2023年1月期)の基本施策の進捗

多種多様な人材活用をさらに推進し、 当社のノウハウを高めていく。

中期経営計画の基本施策である「多種多様な人材活用の推進」に関して、本年4月に入社した3名の外国人留学生を請負・受託プロジェクトに配属できる見通しが立っており、当社のノウハウを高める新たなスタートと認識しております。
協力会社の活用も、請負・受託プロジェクト数の増加に伴い、継続して進めてまいります。また、中期経営計画において、請負・受託事業の売上構成比率を10%程度に引き上げる方針を掲げており、2021年1月期 第2四半期の時点で6.1%まで進捗しております。

ニューノーマル(新常態)時代の取り組み

顧客企業の状況を踏まえて 十分な準備をしておく。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止並びに事業継続のために、様々な取り組みを行っております。新卒採用のための会社説明会や面接は基本的にオンラインで実施しており、内定者数や承諾数に関して、前年同期以上の成果が出ております。営業活動も顧客企業とのコミュニケーションをオンラインで実施しております。
コロナ後のニューノーマル(新常態)がどう形成されていくのか、そのヒントは顧客企業の現在の状況にあります。在宅勤務に応えられるスキルを有した技術者の育成、請負・受託体制の確立も含め、十分な準備をしておくことが重要だと考えております。

株主・投資家の皆様へ

作り上げたビジネスモデルを着実に推進し、 一層の成長と安定配当を期待される企業へ。

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。私どもは、かつてのリーマンショック時の教訓を生かし、景気減速の波に対して、リスクを回避するビジネスモデルを作り上げてまいりました。コロナ禍による有事下ではありますが、着実に事業活動を推進してまいります。
(P7の特集「景気減速リスクを見据えて、アルトナーが作り上げてきたビジネスモデル」をご参照ください。)

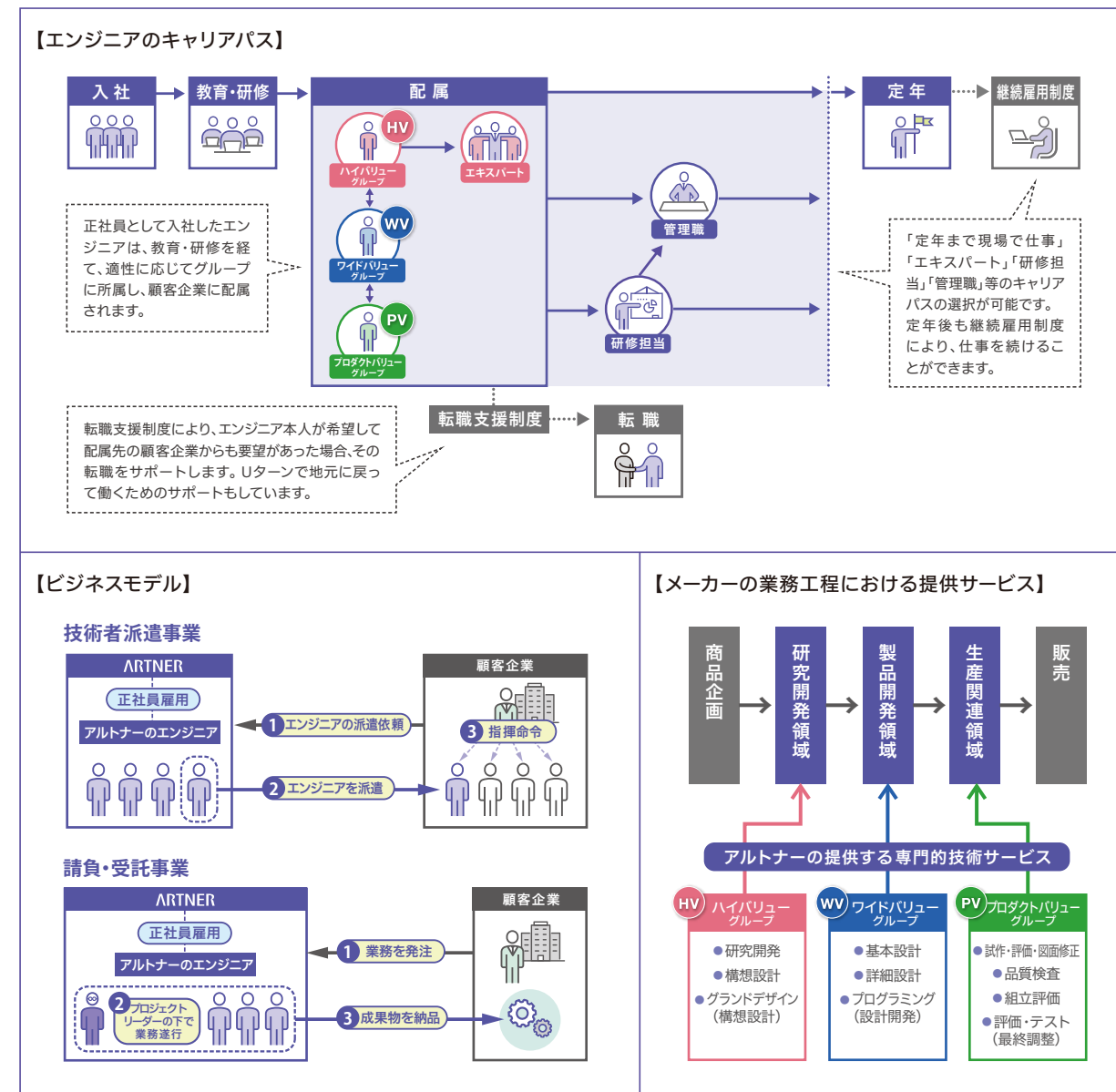


大阪本社から配信を行う関口。

第59期の中間配当は、配当予想通り11.5円となりました。期末配当は11.5円を予定し、年間配当金は23.0円を予定しております。
今後とも、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

キャリアパス & ビジネスモデル

技術開発の強力なパートナーとして、多様なニーズにお応えいたします。



アルトナーニュース

【新型コロナウイルス感染症に対する当社の取り組み】

基本方針

お客様、従業員、その家族、お取引先及び
その他関係者の皆様の安全確保。
新型コロナウイルスの感染拡大防止並びに事業継続。



当社では、コロナ後のニューノーマル(新常態)を見据えて、
在宅勤務に応えられるスキルを有する技術者の育成、
請負・受託体制の確立を含め準備を進めております。

採用部門



採用目標数値を達成するため、会社説明会、面接などをWebで実施しています。学生の会社説明会の参加者数は、例年を上回っています。

営業部門



既存技術者の契約更新、新卒技術者の配属のため、Web会議ツールを使用して顧客企業と交渉を行っています。また、在宅勤務の技術者のフォローも実施しています。

教育部門



新卒技術者の出社をシフト制として、在宅研修時に知識を向上させ、それを基に出社時に実習課題を行うなど、例年以上に自主性を重んじた基礎・応用研修を実施しています。

管理部門



テレワーク(在宅勤務)、シフト勤務、時差出勤などの対応を実施し、業務の効率化を推進しています。

特集 景気減速リスクを見据えて、 アルトナーが作り上げてきたビジネスモデル

コロナ禍は世界中の企業に、経済活動の縮小、社会活動の抑制による影を落とし、業績に影響を及ぼしています。リーマンショック時の教訓を生かし、景気減速の波に対してすぐに影響を受けにくい、アルトナーが作り上げてきたビジネスモデルについてご説明いたします。



HVグループ、WVグループ、PVグループ※のセグメント管理

※「ハイバリューグループ」、「ワイドバリューグループ」、「プロダクトバリューグループ」

有事(コロナ禍)により問題が顕在化した時に、プロセス(採用、教育、配属)の問題点の検証をスピーディーに実施することができ、いち早く改善に着手することができる。

メーカーの業務工程における上流工程への配属推進

2008年のリーマンショックが、世界不況を惹起し、企業の経済活動が抑制されるなど日本経済も甚大な影響を受ける。

リーマンショック時にも、メーカーの業務工程(※①)の上流工程(研究開発、設計開発部門)に配属されていた技術者はあまり契約解除にならなかった。

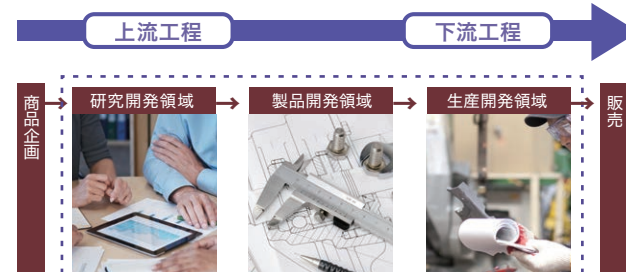
アルトナーの技術者の
上流工程への配属比率を
高めていく
会社方針を決定。

上流工程に配属可能な優秀な学生を採用するため、
◎新採用基準を導入。
◎技術者のニーズを踏まえた社内制度(※②)を導入。
多様な選択肢をPR。

顧客企業の
上流工程の業務に合わせた
教育・研修(※③)を
実施し、配属。

ビジネスモデルが定着し、
現在の上流工程への
配属比率は87%。

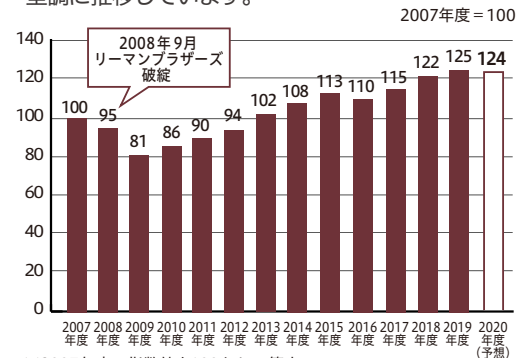
※①メーカーの業務工程



上流工程への技術者の配属結果として
技術者単価が高くなる。

顧客企業の研究開発費の推移

顧客企業であるメーカーの研究開発費は
堅調に推移しています。



※2007年度の指数値を100として算出。
※3月決算の上場している顧客企業の開示資料より集計。

※③教育・研修フロー

正社員として入社した技術者は、「一般研修」「社外実務研修」「基礎研修」「カスタマイズ研修(応用研修)」というプロセスを経て、メーカーのプロジェクトに配属。配属後も「キャリアサポート講座」により、顧客企業への細やかな対応力を養います。



※②技術者が選択できる社内制度

成果報酬型の給与体系

HVグループは、成果報酬型、高水準な報酬のもと、メーカーのトップシークレット且つ、ハイレベルな設計開発を担う。

HV

社内公募制度

「HVグループ」と「WVグループ」、「WVグループ」と「PVグループ」の間で所属を変更することが可能。

HV

WV

PV

エリア限定制度

実務経験3年で、4年目から関東圏、中部圏、関西圏での勤務地のエリア限定が可能。

WV

転職支援制度

技術者本人が希望して、配属先の顧客企業からも要望があった場合、その転職をサポート。また、Uターンで地元に戻って働くための転職をサポート。

HV

WV

PV

転職支援制度の考え方

この制度は学生が、就職活動時に
他社と比較する際の大きな決め手になっており、
優秀な学生の採用に貢献している。

彼らが在籍している期間は、当社の質と信頼性を高め、
また顧客満足度を高めてくれることが
非常に有利に働いている。

また、転職した技術者が当社の取引先に在籍することで
営業面でもプラスに働くことが期待できる。

当社では、育成した技術者は資産と考えているため、
この制度により、目の前の資産を失うことは残念であるが、
長い目で見たときにアルトナーの利益につながると考えている。

要約財務諸表

貸借対照表(要旨)		(単位：百万円)
科 目	第58期 前事業年度 2020年1月31日	第59期 当第2四半期 会計期間 2020年7月31日
資産の部		
流動資産	3,357	3,617
固定資産	444	482
有形固定資産	95	127
無形固定資産	59	57
投資その他の資産	289	297
資産合計	3,801	4,099
負債の部		
流動負債	661	692
固定負債	411	459
負債合計	1,072	1,151
純資産の部		
株主資本	2,724	2,945
資本金	238	238
資本剰余金	168	168
利益剰余金	2,318	2,539
自己株式	△0	△0
評価・換算差額等	3	2
その他有価証券評価差額金	3	2
純資産合計	2,728	2,948
負債純資産合計	3,801	4,099

POINT

ポイント① 貸借対照表

- ①総資産は、現預金、有形固定資産、前払費用の増加により、前事業年度末に比べ298百万円増加。
- ②負債は、未払消費税等の減少があったものの、預り金、退職給付引当金の増加により、前事業年度末に比べ78百万円増加。
- ③純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ219百万円増加。

ポイント② 損益計算書

- ④6月末に一部、契約期間満了があったものの、稼働率、技術者単価は前年同期と同水準で推移、技術者数の増加により、稼働人員は前年同期を上回る。顧客企業から当社の技術者への在宅勤務等の要請により、労働工数は前年同期を下回る。これらの結果、売上高は前年同期比8.0%増の3,654百万円。
- ⑤費用面については、採用活動、営業活動において、スタッフのテレワークを推進したことにより、旅費交通費、会議費等が減少。これらの結果、営業利益は前年同期比11.3%増の475百万円、経常利益は前年同期比11.1%増の480百万円、四半期純利益は前年同期比11.4%増の332百万円。

※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

損益計算書(要旨)		(単位：百万円)
科 目	第58期 前第2四半期 累計期間 2019年2月1日から 2019年7月31日まで	第59期 当第2四半期 累計期間 2020年2月1日から 2020年7月31日まで
売上高		
売上原価	2,084	2,246
売上総利益	1,298	1,408
販売費及び一般管理費	870	932
営業利益	427	475
営業外収益	6	5
営業外費用	1	0
経常利益	432	480
税引前四半期純利益	432	480
法人税、住民税及び事業税	143	157
法人税等調整額	△9	△9
四半期純利益	298	332

キャッシュ・フロー計算書(要旨)		(単位：百万円)
科 目	第58期 前第2四半期 累計期間 2019年2月1日から 2019年7月31日まで	第59期 当第2四半期 累計期間 2020年2月1日から 2020年7月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110	△110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18	216
現金及び現金同等物の期首残高	2,050	2,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,069	2,599

POINT

ポイント③ キャッシュ・フロー計算書

- ①当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ216百万円増加。
- ②営業活動CFは、法人税等の支払があったものの、税引前四半期純利益、退職給付引当金の増加により、370百万円のプラス。
- ③投資活動CFは、有形固定資産の取得による支出により、44百万円のマイナス。
- ④財務活動CFは、配当金の支払により、110百万円のマイナス。

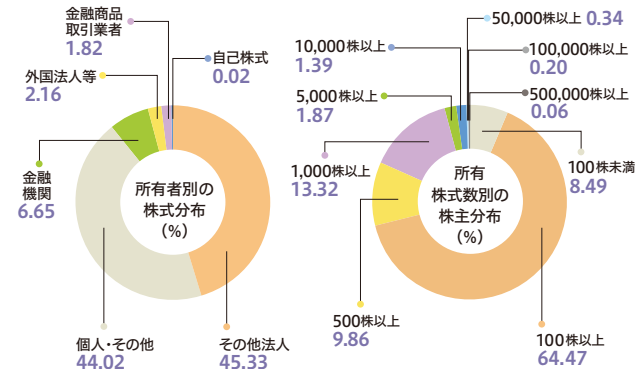
会社・株式情報 (2020年7月31日現在)

会社概要			
名 称	株式会社 アルトナー	研修拠点(LC)	東日本／西日本
設 立	1962年 9月18日	事業内容	1)機械 2)電気・電子 3)ソフトウェア 上記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
代 表 者	代表取締役社長 関口 相三	社 員 数	1,145人
株 式	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:2163)	許可番号	労働者派遣事業(派27-020513) 有料職業紹介事業(27-ユ-020355)
資 本 金	2億3,828万4,320円		
本 社	東京／大阪		
事業拠点	横浜／大阪／宇都宮／名古屋		

役員一覧

代 表 取 締 役 社 長	関口 相三
取 締 役	張替 朋則
取 締 役	奥坂 一也
取 締 役	佐藤 宗
取 締 役	江上 洋二
取締役(常勤監査等委員)	三谷 高昭
取締役(監査等委員)	金井 博基
取締役(監査等委員)	福室 孝三郎

株式の分布状況



株式の状況

発行可能株式総数	36,000,000 株
発行済株式の総数	10,627,920 株
株主数	3,521人

大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)※
株式会社関口興業社	4,310,000	40.56
アルトナー従業員持株会	943,448	8.87
大阪中小企業投資育成株式会社	480,000	4.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	288,000	2.71
張替 朋則	270,240	2.54
奥坂 一也	254,880	2.39
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	133,000	1.25
アルトナー役員持株会	103,800	0.97
江上 洋二	101,552	0.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	90,300	0.84
合計	6,975,220	65.64

※発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合